

商工会議所と市が技術を認定 大手企業との取引が増えました

弊社はプラスチック製品の印刷が専門の加工メーカーです。昭和46年に東京都で創業し、平成9年に神奈川県川崎市に移転しました。社名の由来である鉄道の「ダイヤ」に劣らぬ正確さと徹底した納期管理で、お客さまに高品質な製品を提供し続けています。

しかし、リーマン・ショックを機に売上げが激減。生き残っていくには新しい事業展開が必要と考え、技術開発に力を入れることにしました。そんな中で生み出された技術が、これまで不可能だった、1工程で箱や楕円体などへの全周印刷・加飾を実現させた、曲面体・多面体スクリーン一発印刷「曲面インプレッソン」。低コストで美しい仕上がりを実現した業界初の技

術は、携帯電話や化粧品メーカーなど、さまざまな製品に活用されています。さらに、21年の「かわさき起業家オーディション」で優秀賞を受賞。その表彰式で川崎商工会議所の吉田さんと出会い、「川崎ものづくりブランド」を紹介してもらいました。

ブランドの存在は、地元企業との交流会などで交換した名刺にロゴが印字されていたので知っていました。吉田さんから詳しい話を聞き、弊社の技術を市と商工会議所に認定してもらえば箔が付いて営業しやすくなるのではと考え、応募を決意。認定後は、特に大手企業への営業がスムーズになりました。また、商工会議所に紹介されて昨年出展した、先端技術を持つ市内外の企業が集まる見本市



ダイヤ工業株式会社
代表取締役社長
石塚 勝さん

では、大手化粧品メーカーから技術提携の照会があり、結果的に販路が拡大。テレビ番組や地元紙などでも弊社の技術が紹介され、問い合わせも増えていきます。こうしたきっかけやマッチングの場を常に提供してくれる商工会議所にはとても感謝していますし、川崎に来て本当によかったと思っています。

今後は海外進出も視野に入れた展開を考えていますが、弊社のような中小企業には、2〜3年かけて初期投資のコストを回収するといふ余裕はありません。商工会議所には、セミナーなどを通じ、すぐに現地で事業を始める方法や、すでに成功している事例を紹介してもらえなど、さまざまなサポートを期待しています。

担当者からひと言



川崎商工会議所
(神奈川県)
企画広報部企画課
吉田 将史

ご相談は最寄りの商工会議所までお気軽にどうぞ

当所と川崎市が市内の中小製造業の優れた製品や高い技術を発掘し、国内外に広くPRしようと16年に設立した「川崎ものづくりブランド推進協議会」では、これまで64件を認定しています。認定を受けた企業には、ロゴマークの使用や展示会でのPRなどの特典を販路拡大に活用してもらっています。

石塚社長は、オンリーワンの技術と新たな市場を積極的に開拓する姿勢を大切にしながら事業を展開し、「曲面インプレッソン」も独自のノウハウでゼロから開発したことが評価され、ものづくりブランドとして認定されました。日本の製造業の中でも燦然と輝く企業へとさらに発展してもらうため、当所も支援を続けていきます。